

令和3年度第1回新発田市子ども・子育て会議 会議録 概略

会 議 名	令和3年度第1回新発田市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和3年7月15日(木) 午前9時30分～10時55分
開 催 場 所	健康長寿アクティブ交流センター 屋内広場
議 事	1. 令和2年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の事業実績について 2. 保育園の統合について
出 席 者	<p><b>【委員】</b> 金山会長、木村副会長、松田委員、鈴木委員、大堀委員、鶴巻委員、伊藤委員、吉井委員、斎藤委員、大倉委員、皆川委員、阿部委員、高橋委員、坂井委員、服部委員</p> <p><b>【説明課】</b> (健康推進課) 齋藤課長補佐、(青少年健全育成センター・児童センター) 櫻井所長、(学校教育課) 藤原課長補佐、(地域安全課) 狩野係長、(人権啓発課) 佐久間課長、(社会福祉課) 榎本課長</p> <p><b>【事務局】</b> (こども課) 沼澤課長、佐久間課長補佐、小室課長補佐、渋谷係長、宮村係長、石倉主任</p>
欠 席 者	平野委員、小林委員
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	3人
配 布 資 料	<p>①「令和3年度第1回新発田市子ども・子育て会議次第」及び「委員名簿」</p> <p>②新発田市子ども・子育て会議席次表</p> <p>③資料1 令和2年度新発田市子ども・子育て支援事業 実績</p> <p>④資料2 新発田市子ども・子育て支援事業計画(令和2年実績)</p> <p>⑤資料3 統合に向けた五十公野保育園の令和4年度0歳児募集の停止について</p>
<b>議題1 令和2年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について</b>	
各説明課	議題(1)について各々説明
坂井委員	障がい児保育、児童クラブでの障がい児の受け入れ人数が増えていて、喜ばしいことだと思っている。どういった障がいをお持ちのお子さんが利用できているのか教えてもらいたい。
こども課	幼稚園・保育園・認定こども園・児童発達支援センターに通われているお子様の多くの方は、知的障がい、身体障がいや医療的ケアのお子様は少ないところである。

青少年健全育成センター・児童センター	<p>放課後児童クラブでの障がい児の方の受け入れについては、特段受け入れの条件として障がい別ということは、設けてはいない。希望される児童はこども課から説明があったような内容でほぼ同様の対応となっている。</p>
高橋委員	<p>新型コロナウイルスの感染症対策について、学校や保育園の先生方、児童クラブの指導員の皆様には、子どもの安全を最優先し対策をしていただき、感謝している。</p> <p>ただ、保育園の園児とかは、危機意識を持つということも難しいかと思う。児童クラブ内では非常に限られた空間の中で児童がいるが、どのような対策を取られているか教えてほしい。</p>
青少年健全育成センター・児童センター	<p>放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス感染予防対策については、令和2年度は窓を開けて換気を十分に出来るように網戸の設置やエアコンの整備など主にハード面の整備を行った。今年度は、おやつやお弁当を食べる時の対応ということで、テーブルの真ん中にアクリル板の設置や児童が使うための消毒アルコール、マスク購入等を行い、感染予防対策をできる限り徹底をしている。</p> <p>委員がご心配に思われているのは、学校や保育園等についてはある程度のスペースがあるが、児童クラブについては本当に限られた空間の中で随分多い人数ということだと思う。国の基準としては児童一人当たり1.65平米を確保するようにということで示されており、ほぼその基準を満たした対応になっている。ただ児童クラブ市内19か所のうち、数える程度ではあるが、日によっては、利用数が増減したりするので、多くなるような児童クラブがある。そこについては今、関係機関等が協力のもと、対応できるよう県と調整を進めている。</p>
こども課	<p>保育園、認定こども園では0歳から5歳児をお預かりしている。特に0歳から2歳までの未満児の子どもについては、保育者が片時も離れられない、目を離せない状況で一日を過ごしているところから、なかなか密を避けるということは物理的に難しい状況にある。公立保育園については、物的な環境の整備に力を入れた。水道蛇口ハンドル式からレバー式にする、または自動水栓にするなどの工事を行った。私立園にも消耗品等の購入も含めて補助等をさせていただいた。状況が許す園においては、食事の際にできるだけ同じ方向を向いて食事をする取り組みをしていると聞いている。</p> <p>ただ小さいお子さんについてやはり食べることにも介助が必要であるため、職員はマスクをしたまま食事時の見守り介助を、職員が未満児の部屋で食事をとることができるだけ少なくて済むように人員配置に気を配ったというような取り組みをしているということだった。</p>
学校教育課	<p>小中学校における新型コロナウイルス感染防止対策ということで、今の話と違った視点で話をさせていただこうと思う。これから暑い季節になってくる。熱中症予防対策というようなことも同時に進行して行かなくてはいけない。登下校の際や例えば体育の時間、こういうところではマスクの着用は必要ない、距離がとれていて会話をするような状況でなければ、「マスクを外していい」というような指導もして</p>

	<p>いる。また、新型コロナウイルス感染症に関する差別や誹謗中傷などの防止等の教育についても徹底している。</p> <p>今後、ワクチン接種等についても、強制では全くないので、任意でのワクチン接種を受けていただくということで取り組んでいる。受ける、受けないによって何かしら差別的な言動等がないように各小中学校には配慮するようにと徹底している。</p>
大堀委員	<p>新発田市の保育士の確保状況として、現状どれぐらいなのか。新しい保育所も開設されているが保育士の確保はなかなか難しい話も聞いていた。現状はどのようになっているのか。</p>
こども課	<p>お子さんをお預かりする際には保育士の配置基準というものが、国から示されている。公立園においてもまた私立の各園においても、その配置基準を満たす形で確保されている。必要数というものは100%というふうに考えているが、保育の内容が多様化しており、早朝から夜7時までの預かり方の中で、部分的に、フルタイムの正職員が全て貼り付けるような状況にならないことも、1日の中にあるが、それについても国が一定程度の基準を決めており、各園それを守って行っている。児童の安全が確保できる保育士数が確保されている。</p>
大堀委員	<p>新発田市で、保育士確保のための政策を何かやっているのか。</p>
こども課	<p>今年で四年目になるが、保育士確保のために、宿舍借り上げの国の事業に手を挙げさせていただいて進めている。</p>
大堀委員	<p>家賃補助みたいなことか。今回保育士の研修会が中止になったということだったが、これは処遇改善のキャリアプランの方か。</p>
こども課	<p>新潟県全体で県の保育士会が実施するキャリアアップのセミナーは、コロナ対策をしながら開催していただいて、公立の職員も参加したところである。こちらの計画の方の報告した実績は市が実施する公立園職員の研修である。</p>
大堀委員	<p>子どもを安心して、育てていく市としては優秀な保育士さんが確保できることとその素質をあげてやっていくことは、行政機関としてやっていかなければいけないことだと思うので、ぜひ継続してやっていただきたいと思う。</p>
服部委員	<p>新発田市で新生児訪問を担当させていただいている。</p> <p>事業実績の中の5ページの43番育児相談について質問したい。集団指導とかは今回もコロナの影響でかなり実践できなかったという報告を頂いて、大変だったなどと思う。実際やっている中に個別の育児相談会というものが新発田市では何年か前からやっていると思うが、そちらの実績について、今年度わかるところがあれば教えていただきたい。</p>
健康推進課	<p>今年度ですが、昨年度と違い通常のカンファレンスに戻して実施している。今年度の実績については調査、数字がまとまっていない。</p> <p>集団での教室・相談ができなかった分は、個別で訪問するなどしてリカバリしている。</p>
服部委員	<p>集団指導とまた別に、ママエールという形での個別指導が多分数年前から実際にやっていると思うが、その利用件数が毎年あまり増えてないという情報が入ってい</p>

	<p>る。コロナウイルス感染症がまた今後流行ってくる可能性もあるが、個別指導の枠をもう少し充実させていただければいいと思ったのでそこのところを聞きたい。</p>
健康推進課	<p>ママメールにつきましては、教室や相談会などで、こちらのご家庭は特別な指導とか、声かけが必要だという方に声をかけさせていただいて開催している。これについては、保健師がそこに行くまでに、訪問なり相談等を受けて、そこまで重大な案件にならないので件数が抑えられていると思っている。</p> <p>なるべく教室とか相談会があるたびに、保健師が支援の必要だなというご家庭のところは、積極的にお声かけさせて頂いている。それでも少し支援が足りないなというご家庭にママメールをお勧めしている状況である。保健師ががんばっている証拠だという風に考えている。</p>
服部委員	<p>保健師の方から関わりをもつていただく場合があるが、実際やっぱり個別で話を聞きたいというお母さん方からママメールの日程が組んであるところから、お母さん方から直接電話して、予約を取っていくということで運用していると思う。新発田市で、こういう個別の育児相談の場所を設けていただいて、非常にありがたいと思っているが、やっぱり利用件数がなかなか少ないとか、利用手順に関して、いちいち電話をしてこの日をお願いしますってそういうフリーで、いつも行けるという形ではないらしいので、融通をつけていただけるような感じで今後を考えていただければと思う。</p>
健康推進課	<p>検討させていただきたい。</p>
	<p>出席委員全員挙手で、次第3議題（1）「令和2年度新発田市子ども・子育て支援事業計画の実績報告について」は原案通り承認された。</p>
<p><b>議題（2）保育園の統合について</b></p>	
こども課	<p>議題（2）について説明</p>
大倉委員	<p>統合はなかなか難しいところがある。家庭環境とかお仕事されている方達は、五十公野の方が天ノ原までの送り迎えに行くこと、また、人数的なこと、保護者としてはどんな気持ちなのかなとは思っている。</p>
こども課	<p>最近の保育をご利用される皆様は、自動車による送迎が主なものになっていると感じている。公立保育園の何園かはスクールバスを出しているところもあるが、利用率は年々下がっている。また五十公野保育園につきましては、バスは最初からない状況である。また、夜7時までの開園となっていなかったことから、比較的皆様割と早い時間にお迎えに来ていただけるような状況になっている。</p> <p>ただし閉園となりますと、園のごく近くにお住まいの方のおじいちゃんおばあちゃんが歩いてお迎えに来られるという選択肢が少し狭まるような状況になり心苦しい面もあるが、このような状況で施設を大規模改修して、保育を続けていくということが、職員の確保が難しい中で、なんとか今やっているがなかなか効率の面でも考えても、子どもたちの安全面とかを考えても難しい状況になっているという</p>

	ところで提案させて頂いている。
大倉委員	<p>私が、相談受けた中で、今まで未満児で、可愛がられてきたけど、4・5・6歳児が一緒のクラスで保育士さん一人だということをお聞きした。3歳児から急に4歳児になって自分のことは自分でしなさいよとかそういう風に言われると、登校拒否ではないがそういうことがあったと親御さんの方からお聞きして、市の方にもお伺いして、それは成長段階で自分のことは自分の事って出来ないと駄目なのだという説明を受け、それもごもつともだなと思う。だけど4・5・6歳児をひとりの保育士さんが、見るっていうのはどうなのだろうと気になった。この保育士が少ないということも現実にあるけれども、子どもの目線でもうちょっと融通きかないのか。相談を受けながら親御さんにどういう風に説明したらいいかと市の方にお伺いしたりした。私自身自分の子育ての時は、4歳児の先生、5歳児の先生、6歳児の先生が一人ずついて育ってきたので、保育園が一緒くたになっているという、一人の先生が担当していることを知らず、驚きがありましたので、それだけは言わせて頂きたい。</p>
こども課	<p>大倉委員の方から市民の声を聞くことができるととてもありがたい。保育士は3歳児であれば子ども20人に対し一人の保育士という基準となっている。五十公野保育園については、3歳以上の現状の数が20人を少し超えており、混合で保育することもできるような状況になっている。あわせて、天ノ原保育園においても混合クラスで保育をしているので、2園が一緒になると学年ごとの活動が増やせることになり、先ほど説明した子どもさんの育ちという面での課題というのはこの部分を指しており、これの解消にもなる意味もあり、統合を考えている。</p>
鈴木委員	<p>PTA 連合会の理事ということで出席させて頂いている。五十公野地区という書き方をされているが、小学校中学校になると、小学校であれば東小学校、中学校となれば東中学校の方へ自動的に入学なのかなというふうに思っている。五十公野地区には、保育園自体は何園あり、実際にその子達は五十公野地区で来ているものと五十公野地区以外で受けるものの数が載っていると思うのですが、どのようなバランスで配分してそれぞれの保育園に通っているのがわからなかったもので、その辺を少しお聞きしたい。</p>
こども課	<p>鈴木委員のご質問ですが、東小学校区にある公立の保育園は、松浦・うすが森・天ノ原・五十公野がございます。そしてこちらの東小学校区に隣接する保育施設といたしましては、東豊小学校区にある私立の認定こども園で三つ、保育園で一つある。保育につきましては学校と違い保護者がその園を選んで通うわけで、振り分けというのを市が行うものではない。定員オーバー・希望が多ければ振り分けることもあるが、東小学校の児童数を考えれば公立を選ばれる方と私立選ばれる方は半々程度なのではないかと考えている。</p> <p>この先保護者の働き方が変わったりすると、長時間保育を行う園の方が、皆様ご利用しやすいと予測をしていますので、保護者の選択肢というのは1園減ることによって少し狭まるかもしれませんが、長時間保育をする園が残っていくという形で</p>

	あまりご不便をかけないと思っている。
鈴木委員	閉園の目的ということお聞きしますと、単純に施設自体が38年経過してということで、老朽化が著しいということで、閉園したいということか。
こども課	老朽化の事もあるが、あまりにも少人数の保育であると、学校へ行ってから子どもさんが難儀をするというようなご意見もあるので、その辺も加味して考えている。
皆川委員	私の娘の送迎で、週1回、五十公野保育園の前を通過して送り迎えをしている。何年も通っていてすごく思うことは、どうしてこの場所に保育園を建てたのか。子ども達が集まるところで良かったから建ったのだろうとは思っている。 五十公野保育園の保護者の駐車場が道路の脇に数台しか停めるところがない。細い道のところに車が止められているので危険だと思うことがよくある。 子どもが坂を走って下りてきて、勢い余って飛び出しきて非常に危ない思いを何度もした。子ども達や親御さんのことを考えたりすればという思いもあるが、そこを通るものとしては、がけ崩れとか非常に危ないところなのでそこに保育園は存続しない方がいいと感じている。
こども課	五十公野の保育園のある地域は、ハザードマップで少し地盤の心配があるという場所になっている。私共もこの防災の話になったりした時には必ず園長に伝えている。五十公野保育園は40年前に現在の場所に移転した。帰りの際に子ども達にお家の人と手をつなぐよう一生懸命保育士が指導している。ご近所の皆様にご心配をおかけしたということもあったので、園長にしっかりと伝えて子どもたちの安全確保に努めていきたい。
鶴巻委員	最初に、統合なのか廃園なのか。統合という形で書かれているが、なぜ統合という言葉が使われているのか伺いたい。
こども課	廃止という考え方もあるとも思うが、やはり非常に近いところで学区が一緒であるという天ノ原があり、今まで五十公野を選んでくださった方というのは、地域に対する思いそして学校に対する思いが強い方ですので、やはり同じ学校に上がる皆さんが同じ園にというそういうご希望を思えば、五十公野を廃止してじゃあ好きなおとこへ散らばってくださいではなくて、天ノ原保育園でちゃんと椅子を用意いたしますのでどうぞそちらへ、お嫌な方は別ですけども、そちらへどうぞ一緒になっていただけませんかという意味での統合という考え方である。
鶴巻委員	保護者の方への説明の中では、統合が前提ですから皆様基本的には天ノ原保育園に入園できるという説明をされる予定ということでよろしいか。
こども課	ただ、保育は保護者が、選んで利用する場所を決めるものですので天ノ原保育園をご希望していただけるのであれば、椅子を用意いたしますのでと言った形で説明させていただきたいと思っている。
鶴巻委員	保護者の方は、安心されると思う。廃園という形だと、なくなるということになるので不安が出るかなと思う。その部分を保護者の方には十分説明していただくと安心して、統合に対応していただけるのかなと思う。
	出席委員全員の挙手で、次第3の議題(2)「保育園の統合について」については

	承認された。
<b>議題(3) その他</b>	
	なし
<b>その他</b>	
事務局	事務局からの連絡 ①次回の会議開催予定について ②事務局から会議録(案)を出席者の皆様に送付し、内容の確認をお願いし、概要について市ホームページに掲載する。
<b>閉会</b>	